

2013年6月10日  
株式会社日立製作所

## 国内外の拠点間などで大容量データ交換を高速かつセキュアに実現する環境をクラウドで提供する「TWX-21 グローバル大容量データ交換サービス」を開始

国内最大規模約 50,000 社が利用する「TWX-21」の多彩なサービスへの  
シングルサインオンによりグローバル対応業務の効率化を支援

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび国内外の拠点間や取引先企業との間で、設計図面データや動画データなどギガバイト(GB)サイズの大容量データをインターネット経由でやり取りする企業向けに、大容量データ交換を高速かつセキュアに実現する環境をクラウド型にて提供する「TWX-21 グローバル大容量データ交換サービス」を開発し、6月12日から提供を開始します。

本サービスを採用することで、専用回線や特別な装置、そしてソフトウェアの設定などをせずに、インターネット経由で高速かつセキュアに大容量データ交換が実現できます。なお、本サービスは、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」(ハーモニアスクラウド)のラインアップで、国内最大規模約 50,000 社が利用する企業間ビジネスメディアサービス「TWX-21」のサービスメニューの一つとして提供します。そのため、「TWX-21」上で提供している販売・設計・生産・調達などの多彩なサービスに対してもシングルサインオンで利用できるなど、グローバル対応業務の効率化を支援します。

近年、製造業などの企業が東南アジア・中国などをはじめ、グローバル進出を加速する中、海外で展開する業務内容も、これまで主体だった製造業務だけでなく、設計から試作、販売、そして保守に至るまでと、拡大しています。それにともない、これらの業務に必要な設計図面やマニュアルなど、さまざまな情報のやり取りにおいて、ギガバイト(GB)サイズの大容量データを高速かつセキュアに交換する必要性が高まっています。

しかし、グローバル展開においては、回線状況の悪化やトラフィックの増加により、転送遅延や転送失敗が発生するといった問題が生じる場合があります。そのため、大容量データの交換をするために、データを記録メディアに保存して輸送したり、メールで分割送信したりするなど時間と手間がかかり業務の妨げとなっています。また、セキュリティの観点から、記録メディアの輸送途中での紛失・盗難のほかメールの盗聴などによるデータが漏えいすることを防ぐためにも、セキュアなデータ交換サービスが求められています。

今回、日立は、これまで培ってきた大容量データを多重化する技術(多重化通信)などを生かし、クラウドサービス「TWX-21 グローバル大容量データ交換サービス」を開発し、提供を開始します。

本サービスの導入には、国際専用回線の新設や増強、あるいは特別なデータ圧縮装置の設置といった追加投資が必要ないほか、クラウド型で提供するために、新たに運用のためのソフトウェアなどの購入は不要です。そのため、低コストで、高速かつ高信頼な大容量データの交換が可能です。

利用する際は、Web ブラウザ上で送信したいデータと宛先を選択し、送信開始ボタンを押すだけで送信できるなど、容易に操作できます。なお、本サービスは、「TWX-21」を提供基盤としているため、日立が「TWX-21」の運用でグローバルに長年培ってきたノウハウを生かし、日本語・英語・中国といった多言語対応や「TWX-21」上で提供されているグローバルに対応した高いレベルの運用サービスもシングルサインオンで利用できます。セキュリティ面では、HTTPS<sup>\*1</sup>による通信経路の保護や多重化通信による転送途中の盗聴防止、上司などの管理者承認によって誤送信を防ぐ多重チェックが設定できるなど、安心して利用できます。

なお、今回、本サービスの利便性や品質レベルを実際に体験できる 1 カ月の無料試行サービスを導入検討する法人企業向けに実施します。

\*1 HTTPS：インターネット上で情報を暗号化して送受信するプロトコルで Web のデータ転送に用いられる

日立は、本サービスを拡販していくほか、今後、タイ語ヘルプデスクなど、グローバル対応ソリューションを拡充し、ますます増加すると見込まれる海外へ進出する製造業・流通業など幅広い分野の企業を支援していきます。

## ■「グローバル大容量データ交換サービス」の特徴

### 1. 大容量データの高速・高品質交換を低コストなインターネット環境のみで実現

GB サイズの大容量データの転送を多重化する技術(多重化通信)により高速化・高品質な通信を実現します。また、通信時に起きる回線切断を自動通知し、代替のデータ伝送路を確保することで性能低下を防止します。なお、一般のインターネット回線をそのまま利用することを前提としているため、専用回線の用意や特別な認証装置、データ圧縮装置の設置は不要です。

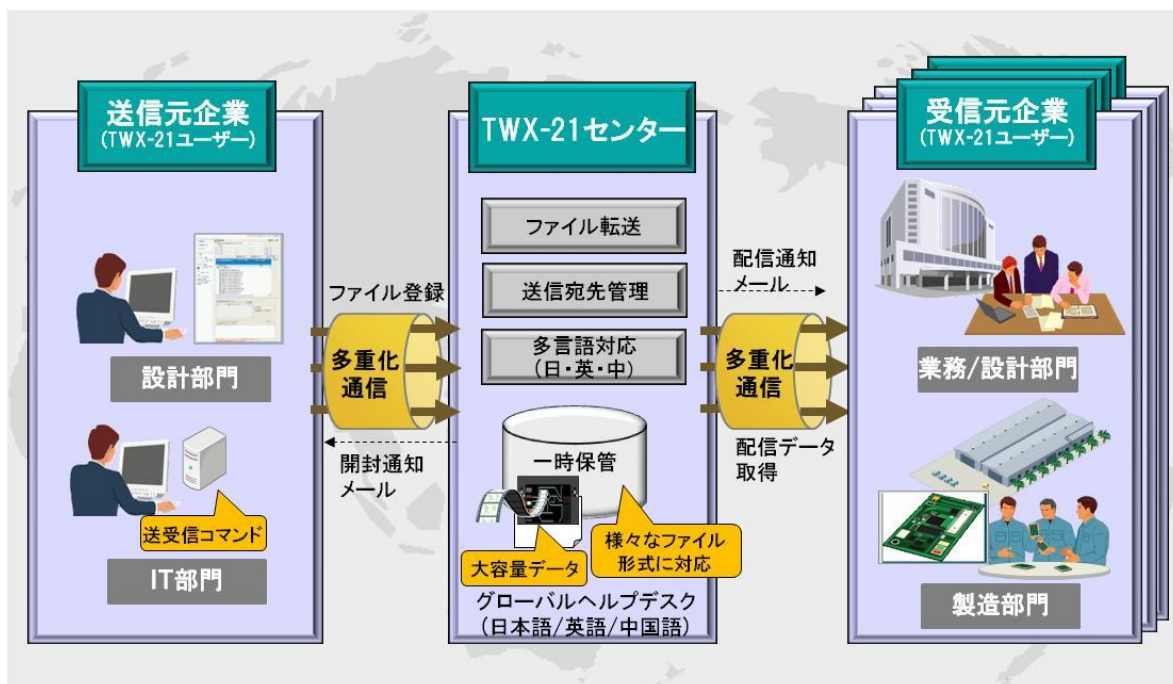
### 2. 安全なデータ転送を実現するセキュリティの確保

HTTPS による通信経路の保護や多重化通信による転送途中の盗聴防止、配信データの取消・自動削除、IP アドレスによるアクセス制限、ユーザー利用ログの取得などによるセキュリティ対策を実施しています。

### 3. グローバルヘルプデスクサービス&トータルサポート

Web 画面の多言語対応(日・英・中)、グローバルヘルプデスク(日・英・中)、ユーザー管理、管理者承認、システム連携送受信コマンドなど業務利用を想定した機能を提供します。また、TWX-21 ポータル機能の提供により、「TWX-21」上で提供されている見積情報、発注情報、需給調整情報(在庫過不足・納入遅延アラート)、さらには環境情報(製品含有物質情報)などの交換・管理や顧客やパートナー企業とのプロジェクト情報共有、パートナー企業管理を支援するサービスへのシングルサインオンを実現し、グローバル対応業務の効率化を支援します。

■「TWX-21 グローバル大容量データ交換サービス」の概要図



■ サービスの価格および提供開始時期

サービス	月額価格(税込)	提供開始時期
TWX-21 グローバル大容量データ交換サービス	オープン価格	2013年6月12日

■ 主な対象となる業種と用途例

業種	主な用途
製造業	海外を含む拠点・取引先との設計図面(2D/3Dなど)、作業手順書、作業動画データの交換
印刷・出版・通販・小売業	組版作業(雑誌、カタログ、チラシなど)の素材/原稿データの交換
放送業	放送局間・現地との番組データの交換
金融系	口座振替書等の申請データの交換
公共系	業者との工事図面などの交換
医薬系・研究機関	海外拠点・研究所との分析データの交換
ソフトウェア開発業	業務委託先との設計データの交換
事務処理代行	手書き書類スキャンデータの交換
全般	媒体(CD/DVD/HDDなど)不要のデータの交換

■ サービス紹介セミナーについて

TWX-21 無料ミニセミナー(東京大森:少人数制で利用ケース紹介やデモを実施します)

日時:6月27日(木)13:30~15:00、6月28日(金)13:30~15:00

申込:<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/seminar/>

■ 日立企業間ビジネスメディアサービス「TWX-21」について (<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/>)

「TWX-21」は、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」の SaaS として位置づけられ、1997年にサービス開始し、現在では、約400業種、約50,000社(20カ国・地域)に利用されている国内最大級の企業向け業務システムクラウドです。「TWX-21」の基盤を活用し、複数の企業間活動にかかわる設計・製造管理や受注管理など企業の業務システムを支援するクラウドサービスとして、各種業種、業態別に提供するアプリケーションサービスの拡充を図っています。また、サービス開始以来、ユーザー企業のニーズをいち早く把握するため、「グローバルヘルプデスク」および「ユーザー連絡会」を設置し、利用ユーザーが安心して使い続けられるサービスの環境を提案しています。今後も、「TWX-21」上で実現するさまざまなアプリケーションサービスメニューの拡充を図っていきます。

■ 日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」について

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 クラウドサービス事業部

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号(大森ベルポートD館)

お問い合わせフォーム URL: <http://www.hitachi.co.jp/cloud-inq/>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---